

# 神さまに召し出されて

— 司祭になるための道のり —



「人は司祭になるためにどうしなければならないでしょうか。司祭になる近道はどこで売られているでしょうか。いいえ、そんなものは売られていません。人を司祭にするのは、主の働きかけです。主が招かれるのです。主が司祭になるのを望まれるおのおのの人を招かれるのです。この招きを心の中で感じた幾人かの若者がここにいるかもしれませんが。それは、司祭となり、神に由来することがらにおいて他の人々に仕え、信仰を教え、洗礼を授け、ゆるし、感謝の祭儀をささげ、病者をいやす奉仕のために全生涯を用いたいという望みです。心の中でこれらのことを感じた人がいれば、それを感じさせてくださったのはイエスです。この招きを大事にし、それが成長して教会全体の中で実りをもたらすように祈ってください。」  
教皇フランシスコ「叙階の秘跡に関する講話」より

カトリック大分司教区



## 「教区司祭召命のパフレット」刊行にあたって



救い主イエス様は、十字架につけられ、死んでいかれました。しかし三日目に復活し、弟子たちに聖霊を与えて使徒とし、全世界に遣わされました。復活されたイエス様は今も生きていて、教会をとおして救いの業を展開しています。

昨年(2019年)11月、フランシスコ教皇様が日本を訪れました。イエス様から遣わされた現代の使徒として、イエス様と共に訪れたのです。二回のミサの他に、長崎と広島  
の被爆地を訪れ、東日本大震災の被災者とも会われました。祈りと対話の中で、被爆者と被災者の苦しみをイエス様の十字架の苦しみと重ね合わせて思い巡らしました。その祈りから生まれたことばは世界中に響き渡り、カナダ、アメリカ、ドイツの教会が、間髪を入れず、核廃絶のために働くことを表明しました。教皇様は、平和という大きな課題に挑戦しただけでなく、青年たちとの対話集会にも臨み、彼らの声に耳を傾け、適切なアドバイスを与えられました。「ここ日本は、経済的には高度に発達した社会ですが、青年との集いで、社会的に孤立している人が少なくないこと、いのちの意味が分からず、自分の存在の意味を見出せず、社会の隅にいる人が、決して少なくないことに気付かされました」と、東京ドームでのミサの中で述べられました。

教会はイエス様の道を示してくれる司祭を必要としています。司祭なしには、生きていて力強いイエス様の導きは期待できないからです。ここに「司祭召命のパフレット」ができました。この紙面を借りて、お祈りと教育費の援助をお願いしたいと思います。と同時に、司祭召命は教区を挙げて取り組むべき課題であるという、司祭団の決意をご理解いただき、種々の取り組みにご協力下さいますようお願いいたします。

大分教区司教 浜口末男



## 召命の祈り

いつくしみ深い父よ、  
 わたしたちは、大分教区における神の国の建設のため、  
 またその到来のしるしである教会共同体への奉仕のため、働き人を必要としています。

神の民が神のことばと聖体で養われ、  
<sup>あか</sup>証し人として生きるよう奉仕する司祭をお遣わしてください。  
 わたしたち一人一人が、自分に呼びかけられた召し出しに生き、  
 その豊かさの中から、神の民に仕える働き人が生まれますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(大分教区司教認可)



## 司祭になるまでの歩み

### 長崎カトリック神学院

(小神学校)

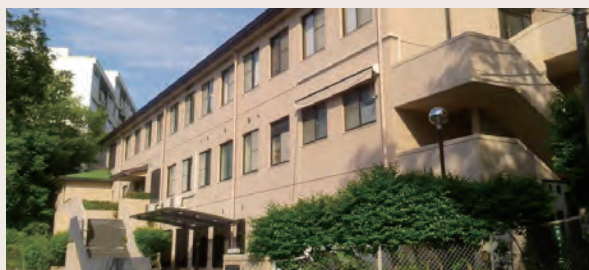
中学校：3年間  
 高等学校：3年間



### 福岡コレジオ

(中神学校)

大学：4年間



### 福岡カトリック神学院

(大神学校)

哲学課程：2年間  
 神学課程：4年間【最終年助祭コース】



### 司 祭 叙 階





## 神学校に入るにあたって



司祭になるためには、小学校を卒業後、小神学校〈中学校、高校〉、コレジオ〈大学〉、そして大神学校の共同生活を経たのちに叙階の秘跡をいただいて、晴れて司祭になることができます。およそ16年間にわたる祈り、勉学などの準備をしながら司祭への道を歩いていくこととなります。しかし、中学から神学校に入ることができなくても高校、コレジオ、大神学校から神学生になることもできます。

いつ、どんなときに神様の呼びかけに気づくかはわかりません。司祭になりたい！という気持ちが芽生えた時がその時なのかもしれません。神様の呼びかけに「はい」と答える準備ができたなら、あるいは少しでも司祭に興味があるならば、あなたの教会の神父様に「司祭になりたい」と勇気を持って言ってみてください。



ミサ(大神学校)



神学生たちの食事会



サッカー(大神学校)



司祭叙階

### 司祭になるためには

- 1 両親に司祭になりたいという気持ちを伝えます。
- 2 教会の主任神父様にお話しに行きます。



### 3 年齢に応じた学校を選びます。

#### 小 神 学 校 (中学生、高校生～)

あなたが小学生あるいは中学生ならば、長崎の浦上にある長崎カトリック神学院に入るための準備をします。歩いて10分ほどにある長崎南山学園に通いながら中学、高校の勉強をすることになります。中学、高校の途中からの編入もできます。

ここに集まっている神学生は、みんな神父様になるために一生懸命にお祈りと勉強、スポーツをしています。

長崎カトリック神学院 長崎市橋口町 10-7 TEL 095-844-1096



#### 長崎カトリック神学院のスケジュール



##### 《平日の日課》

##### ◀ 午前 ▶

5:30 起床  
5:45 朝の祈り・ミサ  
掃除  
6:40 登校準備  
6:55 朝食  
登校  
南山学園にて授業  
帰院後、自由時間

##### ◀ 午後 ▶

17:30 聖時間  
18:00 夕食、片付け  
休憩  
19:10 ロザリオ  
19:30 自習・授業  
20:15 休憩  
20:25 自習・授業  
21:15 靈的読書、晩の祈り

21:45 延長自習 (就寝可)  
23:00 就寝



#### 中 神 学 校 (大学生、社会人～)

あなたが高校卒業の予定であるならば、福岡の浄水通にある福岡コレジオに入るため、そこから通学可能な大学に入る準備をします。

それぞれが勉強したい内容によって選ぶ大学も異なりますが、通うのは福岡コレジオからになります。

あなたが卒業見込みのある大学生、もしくは社会人として生活しながら司祭になりたいとの気持ちになられたのであれば、大神学校に入る前に、1年ないし2年の準備期間を、福岡コレジオで過ごすこととなります。

予備課程と言われるもので、共同生活をしながら、祈りと学びを通して自分を見つめ、召命を識別し浄化する期間を過ごします。大学在学中の場合も、大学3年、4年時に、並行してこの予備課程を過ごすこととなります。

福岡コレジオ 福岡市中央区浄水通 1-23 TEL 092-534-4600



#### 福岡コレジオのスケジュール



##### 《平日の日課》

##### ◀ 午前 ▶

6:00 朝の祈り、念祷  
6:30 ミサ  
7:10 朝食  
大学、専門学校へ

##### ◀ 午後 ▶

18:40 夕食  
自由時間  
19:30 月曜日<英語> 火・木曜日<祈り>  
水曜日<カテキズム> 金曜日<キリシタン史>  
20:30 ロザリオ、夕の祈り  
自習  
23:30 就寝



## 大神学校

福岡コレジオで予備課程を過ごした者が、入学審査を経て、福岡カトリック神学院に入学することになります。

福岡カトリック神学院では、哲学課程2年間、神学課程4年間の計6年間の養成が行われます。この期間は、哲学と神学だけでなく、聖書はもちろんのこと、語学、典礼、秘跡、教会の歴史、教会法などを学びます。週末には、小教区の教会で司牧体験(実習)が行われます。夏、冬、春には長期休暇があります。休むと同時に、その期間は自分の教区での養成の期間となります。大神学校を修了してから、教区の司教の了承を得て、助祭に叙階されることとなります。

福岡カトリック神学院 福岡市城南区松山 1-1-1 TEL 092-871-4943



### 福岡カトリック神学院のスケジュール



#### 《平日の日課》

#### ◀ 午前 ▶

6:00 朝の祈り、念祷

7:00 ミサ

朝食

9:00 授業あるいは自習

#### ◀ 午後 ▶

12:30 昼食、片付け、休憩

14:00 授業

15:35 自由時間

17:30 祈り、霊的講話、聖歌の練習、典礼準備、学年集会

18:00 夕食、片付け

休憩

寝る前の祈り

就寝



## 4 司祭へ叙階

助祭叙階を受けた者は、教区において、半年ないし1年ほど、司牧的養成を受けることとなります。奉仕者として生活しながら、これまで歩んできた司祭召命を統合する期間です。そうして最終的な審査をもって、いよいよ司祭に叙階されます。

叙階式は、通常自分の所属する教区の司教により、カテドラル(司教座聖堂)にて執り行われます。

司祭になる人の約束の言葉と司教の叙階の祈り、そして按手と塗油により司祭が誕生することになります。司祭の誕生は、本人のお祈りや努力も必要ですが、神様からのお恵みと多くの方々のお祈りと支えによって実現するものです。司祭は神様に召された者として、教会や学校などの派遣された場所で、「神の民」のために神様を証しする者となります。「行ってすべての人を私の弟子にしてください」とのイエス様の言葉を精いっぱい果たしていくため、神様への祈りと信頼のうちに歩み始めます。



## 「司祭への道」



もしあなたが今、小学校6年生なら、小神学校に入学して司祭になるまでに、16年間を「神学生」として「神学校」で過ごすこととなります。もしあなたが、社会人として働いていて、神学校に入ったとしても司祭に叙階されるまでには8年ほどの養成の期間を過ごすこととなります。長いと感じるでしょうね。そして、司祭に叙階されてからは、40年、50年、60年と、生涯を終えるまで司祭として生き続けることとなります。司祭とは、職業ではなく、「生き方」です。

「神さまが私たちを呼んでいる」ことを意味する「召命」とは、司祭や修道者だけに限ったものではありません。すべての人は、ひとり残らず、神さまから命を与えられていて、その命が充実したものになるように、神さまから呼ばれ導かれています。

私たちには、人種や国籍、生まれてくる家庭環境などを自分で選んだという自覚はありません。また、たとえまったく同じ環境で育ったとしても、将来、そして生涯にわたって同じ道を歩くわけではありません。私たちは、自分でその道を希望し、自分で選んで今を進んでいるのだと言っていますが、よくよく考えてみると、「なぜ」私はその道を選び、「なぜ」私は今もその道を歩んでいるのか、実はよくわからないはずです。「なぜ」私はこの道にひかれ、「なぜ」この人に憧れているのか。それは、私の深いところで神さまが呼びかけていて、神さまが私だけに与えてくださった、私のための「召命」のせいかもしれません。それぞれに容姿や性格、好みの違いがありますし、また、自分の病気や欠点などを背負って生き続けていくことも「召命」の一部でしょう。神さまの思いをすべて知ることは難しいことです。イエスさまは、十字架をご自分の召命として引き受けられました。召命の道を歩き続けるには、神さまと対話しながら、識別していく必要があります。長い養成期間は、そのためのものと言えます。神学校を辞めることは恥ずかしいことでも断罪されることでもありません。司祭以外の別の召命、あなた独自の召命を発見したのであり、それを生き始めるのです。その場合でも神学校での生活は、あなたの宝となるでしょう。

司祭として生きることは、自分の「召命」を生きることですが、他の人の「召命」をサポートする生き方と表現できるかもしれません。人生を歩み出した子どもたち、青少年、結婚し家庭を築いている人やそうでない人、特に困難な状況にある人、迷っている人、苦しんでいる人、そういうすべての人の歩んでいる召命の道を応援する生き方です。どのようにサポートし、応援するかと言うと、私たち皆に生命を与え、呼びかけ(召命)ている神さまの思いを届けることによってです。

すべての人は、いつの時代も人間を探求しています。また、すべての学び(学問)も人間を探求することに集約しています。同時に、私たちはどうしたら幸せになるかを探しています。仕事、政治、経済、日々の生活すべてにおいて私たちは幸せを探求しているのです。しかし、人間は人間をまだ完全には理解できないままです。すべての人は幸せになりたいのに、幸せな世界、真の平和はなかなか実現しません。だから、神さまは、イエスさまを通して、人間とはどのようなもので、どうしたら幸せになるかを示してくださいました。そして、教会は、それを伝え続けてきましたし、今もこれからも伝えていく必要があります。私たち人間が、自分を知るために、また幸せの道をたどるためには、イエスさまの生き方、その教えが不可欠だからです。教会は、イエスさまとともに、キリスト者であるないにかかわらず、すべての人の命、召命をサポートし、応援しているのです。

みなが司祭になる必要はありません。しかし、このイエスさまを通しての神さまの思い、私たち皆に必要なメッセージを、学んで考え(祈り)、感謝し、立ち上がって伝え、自分もそう生きるように努めながら、人にも伝えていく、みなでそういう共同体をつくり支えていく。そういう生き方に集中して生涯をおくる司祭を、神さまが、そしてすべての人が必要としています。

そういう司祭としての生き方に、「なぜか」心をひかれるなら、あなたも司祭への召命をいただいているかもしれません。



## 神学生の紹介



福岡カトリック神学院  
哲学科2年

山頭 牧夫

最初は単純なあこがれでした。大叔父の神父様のされるお話を聞いて「カッコいいな!」と思いました。そして死に直面した人、その家族を安心させた司祭の姿を見て「これはホンモノかもしれない」と感じたことを憶えています。教会に来る人を力づける司祭を目指したく思います。



スペイン国際大神学院ピダソア  
神学科2年

幸 真宏

「司祭になりたい!」という今の希望は、10年前洗礼を受けてすぐに抱くことはありませんでした。ですが、いつくしみ深い神様の御手に導かれ、少しずつ自分の召し出しを見出し、今年で神学期も最終学年を迎えようとしています。最後まで自分の召命に忠実に、謙遜に、日々の神様のみ旨に心から応え、教会に仕えることができますよう、お祈りをお願いいたします。



福岡カトリック神学院  
哲学科2年

金 建

イエス様の御言葉と教えをはじめ、行われた全てのことを宣べ伝える代理者として歩んでいきたいと思って、司祭の道を選択しました。運命的に導かれたかもしれません。

まだまだ、足りないことばかりの私ですが、日本の多くの信者さんにイエス様が担がれた十字架の意味を伝えることができるなら、それにまさる喜びはないと思います。



長崎カトリック神学院(小神学校)  
中学2年生

安部 純

中学2年生になりました。今年は新しい後輩が入ってきて計14名で共同生活をしています。今年は新型コロナウイルスのこともあり、自分の健康に気を配って生活するようにしています。これからも神学生のためにお祈りをよろしく願います。



長崎カトリック神学院(小神学校)  
中学1年生

吉岡 ハル

ぼくの召命のためにお祈りください。そして、ぼくと一緒に入る人がまだいるので、その人のためにもお祈りください。

## ☘ 神学生養成費(一粒会)献金のお願い ☘

召命は神が与えてくださるお恵みです。神ご自身が、その始めから終わりまで働き続けてくださいます。しかし、召命の実りのために、私たちは自分にできる協力をするよう求められています。一人ひとりのそれは小さな業ですが、不可欠、かつ偉大な貢献です。

神学生たちには何より霊的支え(祈りや犠牲)が必要です。同時に、物的支援もいります。実際、一人の司祭が生まれるまでには、多くのお金が必要なのが現実です。目には見えなくても、皆さま方がささげてくださる祈りと犠牲、また、差し出してくださる献金は、一人の人間が神とその民のために奉仕する生き方と働きとなって実を結んでいきます。

神学生養成のための献金、何卒よろしくお願い申し上げます。